

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	物流・産業		26年度事業・施策評価結果		責任者 建設部 管理課長
施策名	産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成		成果	コスト	
事務事業名	西部地区(第2貯木場)都市機能等用地整備事業		継続	維持	維持
目的	対象(誰・何を)	第2貯木場			事業 期間 平成14~27年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	埋め立てを行い、企業進出用地(分譲地)として整備します。			
概要	整備場所:愛知県海部郡飛鳥村(飛鳥ふ頭) 内容・規模:飛鳥ふ頭第2貯木場の埋め立て及び保管施設用地整備(面積13.9ha) 事業費:20億円 事業手法:起債事業・単独事業				根拠 法令等 公有水面埋立法 港湾整備促進法 名古屋港湾計画
事業着手時点の 評価	保管施設用地として用地造成を行うことにより、13.6haの分譲が可能となり、飛鳥ふ頭における不足するコンテナ関連用地に対応します。				実施 義務 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
27年度の実施予定	分譲地周辺道路(東側、南側)の整備と分譲地の整地を行うとともに必要な給水管を敷設します。				関連 シート 西部地区(第1・2貯 木場)埋立地の売却

2 DO(実施)

27年度に実施した 内容・結果	分譲地周辺道路の整備、分譲地の整地及び給水管の敷設は完了しました。 補正予算で要求した分譲地の利便性を高めるための仮設道路については整備に着手しました。					
コスト	単位	25年度	26年度	27年度	合計(14年度~)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	24,800	175,571	270,584	2,006,155	
人件費	千円	2,453	2,202	2,230	34,515	
合計	千円	27,253	177,295	272,814	2,040,670	

3 CHECK(検証)

指標名	25年度	26年度	27年度	最終目標	27	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標	-	87.1	100.0	100(累計)	事業進捗率(目標・実績)は、総事業費を100とした事業費(当初予算額)の割合。	
	実績	77.1	85.7	99.1			
	事業進捗状況(27年度)			順調・やや遅れ・遅れ			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	平成27年度中に周辺道路の整備や給水管の整備は終了しましたが、補正予算で要求した分譲地中央の仮設道路については平成28年度完成予定のため、事業進捗はやや遅れとしました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	○	名古屋港の取扱貨物量は増加傾向にあり、保管施設用地の拡充が必要であると考えています。				
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○	埋立を行い、企業進出用地を整備することは、上位施策である「産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成」に貢献すると考えております。				
	期待どおりの成果が得られているか?	—					
効率性	最小のコストとなっているか?	○	準備作業量の増加に関しても、最小の人員で実施し、継続的なコスト削減に努めました。				

4 ACTION(取組)

施策評価結果	28年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
延伸	維持	維持	分譲地の利便性向上を図るため仮設道路の施工が必要となったため。 * 今回の評価にて、事業完了年度を延伸(27→28年度)
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			28年度以降の取組
補正予算で要求した分譲地の利便性を向上させる仮設道路の整備を進めていく必要があります。			仮設道路の整備を着実に進めていきます。